

浅野図書館関係略年表

和暦	西暦	事項 図書館関係事項／白、浅野家・浅野図書館・広島市立中央図書館関係事項／緑、一般事項／青
慶応2	1866	福沢諭吉の『西洋事情』で、西洋の図書館（ビブリオテーキ）が紹介される
明治元	1868	明治新政府成立
明治2	1869	版籍奉還の請願が受理され、浅野長勲公は広島藩知事となる
明治4	1871	廃藩置県、広島藩は広島県となる。長勲公は広島藩知事を辞し、東京への移住を命じられる
明治5	1872	文部省、東京湯島に「官立書籍館」（近代官立公共図書館の第1号）を設立 京都の集書会社、大阪の集書局、群馬安中の便覧所などをはじめとして、石川、島根、青森、山口、新潟など各地に書籍館（図書館）が設立された
明治11	1878	長勲公、私立浅野学校設立（後に山田十竹に引き継がれる。現在の修道学園）
明治15	1882	長勲公、6月から特命全権公使としてイタリアに赴く（～1884年9月）
明治18	1885	広島県立福山中学校内に福山書籍館設立
明治22	1889	大日本帝国憲法発布
明治32	1899	図書館令公布
明治34	1901	岡田俊太郎により私立広島図書館設立。大正6年（1917年）岡田の死去により閉館
明治39	1906	私立尾道図書館設立（→尾道市立図書館へ） 帝国図書館新館開館
明治41	1908	広島高等師範学校附属図書館、一般公開を開始
明治43	1910	福山市、福山書籍館が閉館し、私立義倉図書館が設立 竹原町に社団法人竹原書院設立（→竹原市立図書館へ）
明治45	1912	図書館令公布から10年余の間に、図書館数は約10倍の541館に達した。そのうち約60%を私立図書館が占めた
大正2	1913	長勲公、日本最初と言われる私立美術館「観古館」を泉邸内に開設
大正4	1915	日本図書館協会、大正天皇の即位を記念して図書館の充実に取り組む 広島市議会で、大正4年11月に行われる天皇即位礼を記念して図書館建設の積立基金を設けようという議題が出る
大正9	1920	10月、長勲公、浅野長晟入城三百年祭を記念して、図書館建設の旨を新聞に発表
大正13	1924	呉市立図書館設立
大正15	1926	3月、小町に浅野図書館竣工（5月4日落成式、11月28日開館式、12月5日一般閲覧開始） 5月、皇太子殿下、浅野図書館を視察
昭和2	1927	日本図書館協会、昭和天皇の即位を記念して図書館の充実に取り組む
昭和3	1928	広島市議会、昭和3年11月挙行の天皇即位を記念するものとして市立図書館を設置しようという議員発議がある
昭和4	1929	浅野図書館を広島県に寄贈する話が出る
昭和5	1930	広島市、浅野家に図書館の寄贈を要望
昭和6	1931	10月、浅野図書館が広島市に寄贈され、広島市立浅野図書館が発足
昭和10	1935	10月、広島市立浅野図書館が広島県中央図書館に指定される
昭和14	1939	第二次世界大戦開戦
昭和19	1944	B 29、東京を初爆撃する
昭和20	1945	8月6日、原子爆弾投下により浅野図書館焼失（疎開中の貴重図書を除く）、職員15名のうち4名死亡 日本、ポツダム宣言受諾（第二次世界大戦終結）
昭和21	1946	10月1日、浅野図書館、山陽文徳殿（比治山）で業務開始
昭和23	1948	国立国会図書館開館
昭和24	1949	6月12日、浅野図書館、小町に復帰開館 7月、広島市立児童図書館を浅野図書館内に併設開館（→1953年基町に広島市児童図書館落成→1980年広島市こども図書館へ）
昭和25	1950	図書館法公布
昭和26	1951	広島県児童図書館設立（→広島県立図書館へ）
昭和30	1955	2月20日、浅野図書館、国泰寺町に新館開館
昭和49	1974	5月、基町に広島市立中央図書館竣工（開館10月27日）
令和8年	2026	現在地（松原町）に移転開館

※ 広島県内の図書館設立の動きについては市立のみ記載